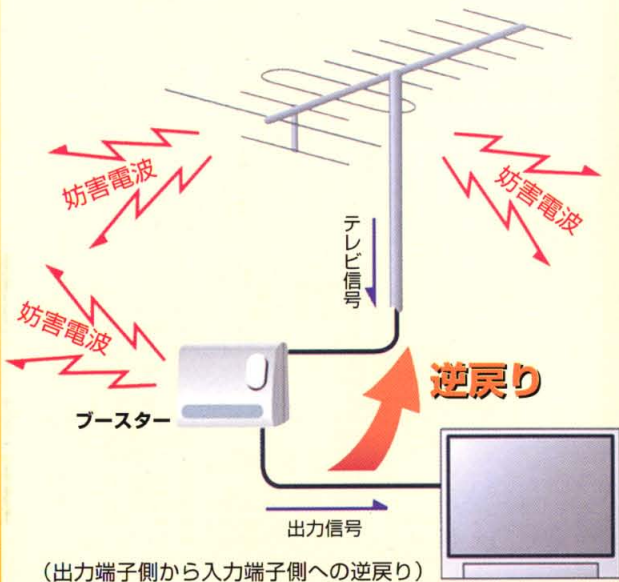


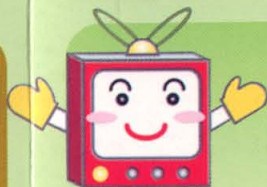
ブースターの発振とは

- ◎スピーカーにマイクを近づけるとキーンという音が発生しますが、これは発振の一種です。
- ◎これと同じで、ブースターを通過したテレビ電波の一部が何らかの原因でブースターの入力側(入口側)に逆戻りして発振します。
- ◎これが妨害電波となって受信アンテナから放射され広範囲に障害を与えます。



症状の特徴

- ◎写真のようなしま模様に変化したり、色がつかない場合があります。
- ◎発生源である受信者宅やその近くでは、画面が白または真っ黒となり、音声もとだえることがあります。
- ◎妨害の多くは特定のチャンネルに発生します。
- ◎ブースターの発振状態が変化して別のチャンネルに妨害が移ることがあります。
- ◎多くは長時間連続的に発生します。
- ◎数十mから数百m先まで障害を与える場合があります。

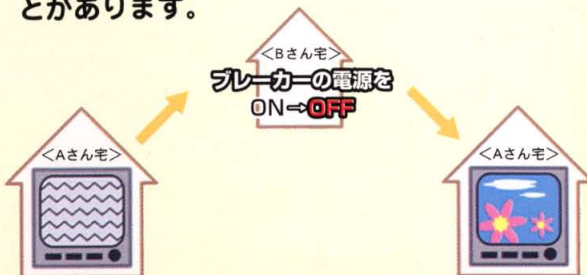


ブースターとは…

電波を強める増幅器のことで、電波の弱い地域での受信や、多くのテレビに電波を分配する場合に使用します。

もしお家でブースターをお使いの場合は

- ◆しま模様などの障害がでている時。
- ◆近所のお宅と話し合って画面を見てもらいながら電気のブレーカーを切ってください。
- ◆障害がなくなれば、その家のブースターが原因です。
- ◆自分の家に障害がなくても原因になっていることがあります。



原因がわかったら

- ◆電気店などに相談し、ブースターやアンテナ線を点検してもらいましょう。
- ◆原因になっているブースターをそのまま使っていると、ご近所にも障害を与えます。



総務省 関東総合通信局

〒102-8795 千代田区九段南1-2-1
九段第3合同庁舎

放送受信障害に関するお問い合わせは…

電話 03-6238-1945

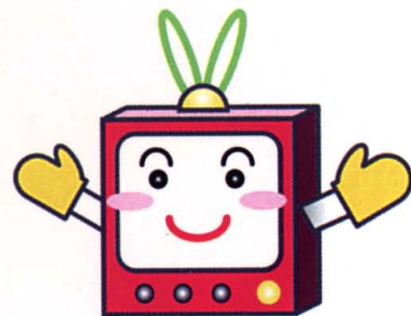


(ブースター発振の妨害を受けた画面)

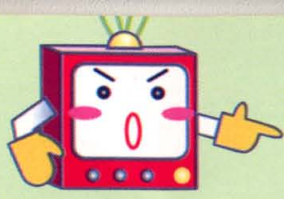
(NHK 提供)

ご近所に迷惑がかかっていませんか 「ブースターの発振」で

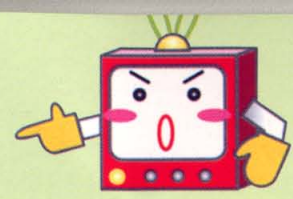
ブースターは正しい取付方法で設置しましょう
ブースターは感度(利得調整)を上げすぎると
発振しやすくなります



総務省



障害の原因となるのは!!



取付不良

アンテナ間隔が狭い

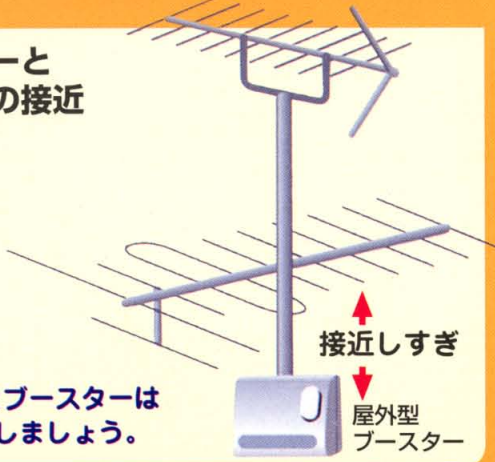
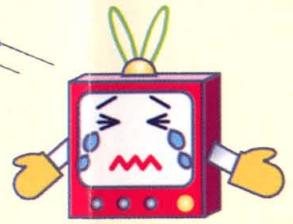
↑
アンテナが近づきすぎ
↓



アンテナはそれぞれ1m以上離しましょう。

屋外型ブースター

ブースターとアンテナの接近



アンテナとブースターは1m以上離しましょう。

↑
接近しすぎ
↓

屋外型ブースター

ブースターの故障

ブースター自体の故障で発振している。



屋外型ブースター

利得調整が不適當

ボリュームの位置が不適當。
(感度を上げすぎ)

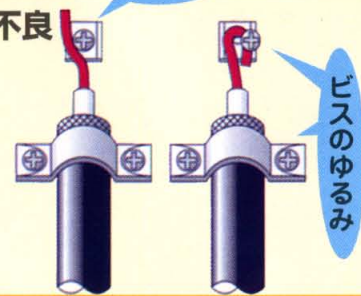


屋外型ブースター

接続誤り

接触不良

はずれ



ビスのゆるみ

断線



断線

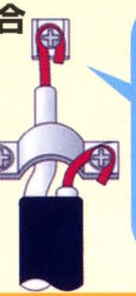
ショート



編組線(外側の網目の導線)と芯線(中心の導線)のショート

不整合

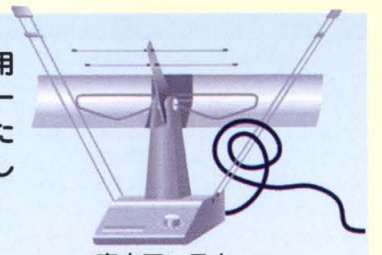
75Ω端子にファイダー線を接続



同軸ケーブルとファイダー線では、接続する端子が違います。

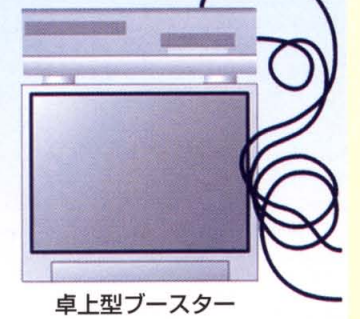
フィーダー線の交差・接触・束ね

フィーダー線を使用し、束ねたり、フィーダー線どうし、またはアンテナと接近している。



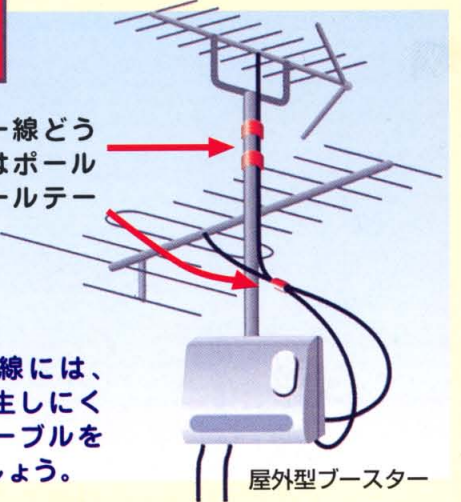
室内アンテナ(ブースター内蔵)

アンテナ線には、障害の発生しにくい同軸ケーブルを使用しましょう。



卓上型ブースター

フィーダー線どうし、またはポールとをビニールテープなどで巻きつけている。



屋外型ブースター

アンテナ線には、障害の発生しにくい同軸ケーブルを使用しましょう。